

2008年5月7日

「みどりちゃんを救う会」にご支援をいただいております皆様へ

拝啓、新緑の候、「みどりちゃんを救う会」ご支援者の皆様には大変お世話になっております。

相原碧ちゃん(6歳)は、関係各所のご尽力のお陰をもちまして4月25日(金)無事JAL 10便(12:00成田発)で出発致しました。翌日の4月26日(土)早朝(日本時間)アーカンソー小児病院に無事到着後、直ぐにICUに搬送され検査・治療を続けております。

母親の都史子さんから現地の様子について一報が入りましたので、ご紹介させていただきます。

ここまで来ることができましたのも皆様のご支援の賜物と救う会一同心より感謝しております。引き続きみどりちゃん支援のため活動を行ってゆく所存です。皆様の変わらぬご支援、ご協力を賜れますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

敬具

〒181-0013
東京都三鷹市下連雀 3-23-6
エトワール三鷹第2
304号

Tel 0422-26-8917

Fax 0422-26-8937

「みどりちゃんを救う会」
代表 岡本晋太郎

4月25日(金) 東京女子医大東医療センターから救急車で成田空港に行き、昼すぎの便で無事に日本を旅立つことができました。シカゴからは、医療ジェットでアーカンソー州リトルロック空港まで行き、救急車にてアーカンソー小児病院のICUに運ばれました。本当に命がけの渡航ではありましたが、医療関係者の必死の治療のもと、無事到着できました事を心より感謝致します。

アーカンソー小児病院は全米でも有数の小児のハートセンターを備えた総合病院です。

碧は入院後、すぐに心臓移植待機リストに載りましたが、大変重篤な状態の為、ひとまず補助人工心臓を付けて待機する事になりました。

4月29日(火) 補助人工心臓をつける手術を行いました。これにより心臓移植の治療を受ける為の時間の猶予を頂いたと思います。

日本で治療を受けていたときも大きな山場を何度も乗り越えてきました。今回、渡航と補助人工心臓手術という大きな山場をご支援頂いた皆様のおかげで、碧は乗り越える事ができ、碧自身は補助人工心臓に慣れようと必死で頑張っているところです。

このようにアメリカで心臓移植を待つ事が出来ますのも、多くの皆様の温かい御心の賜物です。

本来ならばお一人お一人にお目にかかり、御礼申し上げたいところですが、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

今後、碧が心臓移植を受けられ、元気になって皆様にご報告できるその日が来るまで、引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2008年5月3日 相原都史子(母)